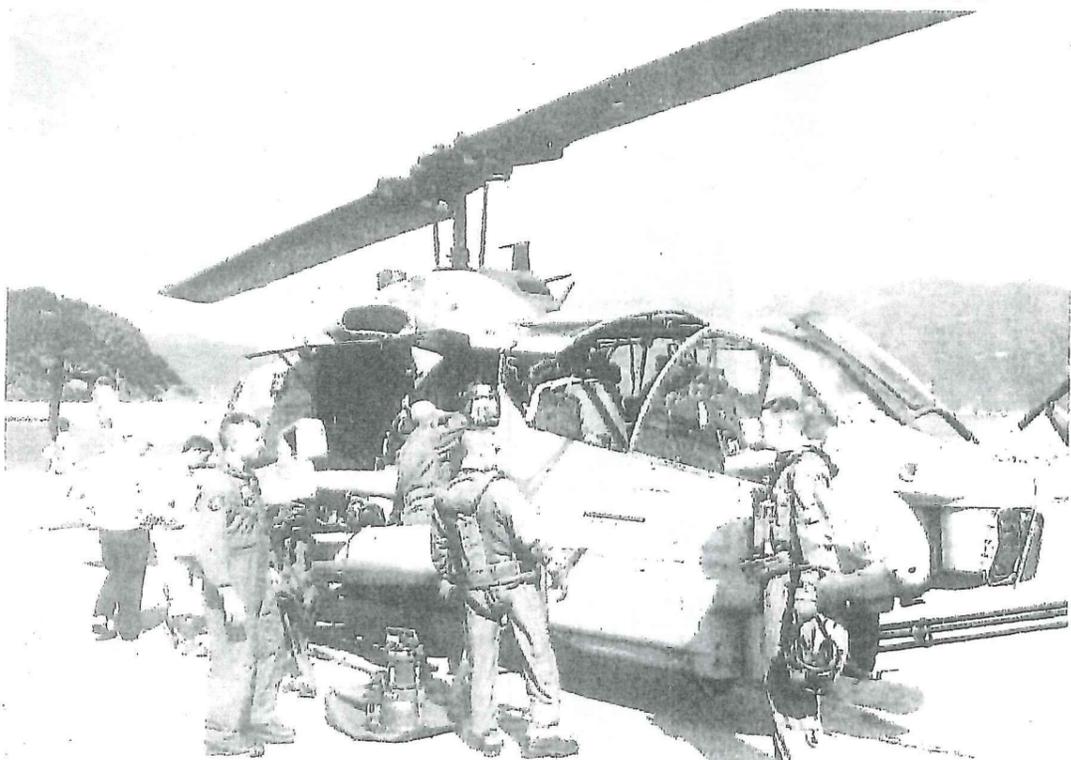


エンジントラブルを起こしたヘリコプターの故障箇所を確認する米兵
—18日午前9時40分ごろ(西村公男さん提供)



三崎のビーチ

米軍戦闘ヘリが不時着

岩国基地から 操縦かん故障 普天間帰還中

十八日午前九時半ごろ、西宇和郡三崎町井野浦の海水浴場「ムーンビーチ」に、沖縄の米軍普天間基地所属のヘリコプター「シエラ」R・パーカー操縦士(三〇)と二人乗組員が、コントロール(操縦かん)の故障のため不時着した。当時、同海水浴場に人はおらず、乗員二人も無事だった。同機は同日午後一時ごろ、修理を終えて飛び立った。

八幡浜署などの調べでは、事故機は米製A119 I Wコブラ戦闘用ヘリコプター。同日午前八時、山口県の岩国基地を四機編成で出発し普天間基地に向かう途中、豊後水道でコントロールに異常が発生したため、同ビーチに緊急着陸した。

「夏場でなくよかった」

住民、爆音に驚き隠せず

「(操縦)音を響かせながら米軍ヘリコプターが不時着した西宇和郡三崎町井野浦の砂浜は、砂を洗う波の音が絶え間なく聞こえる海水浴場。住民らは「ものすごい音がしてびっくりした。砂浜に人の多い夏場でなくてよかった」と話していた。

たまたま浜にいた近くの会社役員中村精次さん(四〇)は「バラバラと大きな音で顔を上げると、海から砂浜に三機のヘリが低空で向かってきた。何事かと思っ

た。残り三機のうち二機も着陸したが、まもなく離陸。武器などは積んでいなかった。

修理に当たっていた米軍関係者によると、エンジンとプロペラシャフトをつなぐ箇所にあるベアリングが故障したのが原因らしい。

同日正午ごろ、岩国基地から復旧隊がヘリ二機で到着。ベアリングを交換するなど復旧作業にあたり、午後一時前に修理を終了、同

県内の最近の米軍関係航空機事故

- ▽1979年12月 西宇和郡保内町、保内中グラウンドに米軍・沖繩普天間基地のヘリ二機が不時着
- ▽81年3月 保内中グラウンドに米軍ヘリ三機が天候不良と燃料切れで不時着
- ▽84年4月 西宇和郡三崎町の空き地に米軍ヘリ一機が燃料不足で不時着
- ▽84年9月 越智郡吉海基地に向け出発した。同町内では一九八四年四月、普天間基地所属の米軍ヘリ一機が燃料不足のため、同町高浦の空き地に不時着。佐田岬半島の米軍関係航空機事故は今回で五度目。

同ビーチは三崎港近くで長さ約三百メートル、幅約七十メートルの人工砂浜。

りから煙は出てなかったのに、墜落するとは思わなかった」と話していた。

同町総務課によると、同町を含む豊後水道一帯が自衛隊の飛行訓練エリアになっており、最近ではヘリコプターが二、三日に一度の間、大量摂取すると致死性がある劇物アセトアミノフェンが含まれる二種類の風邪薬を毎日のように多量にのませ、殺そうとした疑い。

十七日午後八時半ごろ、川崎市宮前区土橋の洋酒メーカ「サントリー」の元

元上司夫婦を銃で殺傷

川崎 退職の男発砲後自殺

部長大橋賢太郎さん(六〇)方、男の計三人が倒れているのを、大橋さんと妻菊子さん(五七)を、一〇番で駆け付けた。宮前署員が見つけた。

三人とも拳銃で頭などを撃たれ、大橋さんと男は死亡、菊子さんは重体。

これまでの調べでは、大

追われた。

八木容疑者ら 4人を送検

埼玉、殺人未遂容疑 埼玉県本庄市の保険金殺人疑惑で、本庄署捜査本部は十八日、殺人未遂の疑いで金融業八木茂容疑者(五〇)と、フィリピン人のスナック従業員アナリエ・サトウ・カワムラ容疑者(三〇)ら四人を送検した。

製材板600枚焼く

十八日午後零時十分ごろ、今治市喜田村四丁目の箱助製材II越智郡波方町波方、沖隆男さん(六三)経営の製材場から出火、製材板約六百枚(約五十万円相当)を焼いた。

今治署の調べでは、同日午前九時ごろから、同社敷地内で木くずを燃やしていた際、製材に燃え移り、従業員が一一九番通報した。

ひき逃げ 酒気帯び

十七日夜、松山市の県道交差点で、ひき逃げ事件で、十八日午前二時、業務上過失傷害(ひき逃げ)の同署久枝交番に白た同市東長戸二丁師後藤宣幸容疑者急逮捕した。

調べでは、後藤十七日午後十時、松山市安城交差点で乗用車を道をはから来た同町、フリーター(三〇)のオートバイに衝突、越智肩打撲など約二割を負わせて逃げた。

同署は、同容疑者(酒気帯び運転)を調べ、同容疑者は帰郷に説得され、自白した。同容疑者は十酒運転で松山南署を受けており、「今飲んでいたので逃げてお詫言っています」と供述している。

「男を追い掛け、

伊方原発貯蔵

漏えい防止対策徹底へ

四国電力伊方発電所(西宇和郡伊方町九町越)3号機の使用済み核燃料貯蔵庫で三月中旬、ステンレス製内壁を貫通するサビ状の傷が見つかった問題で、四電は十九日、県と伊方町に最終報告書を提出した。

報告書によると、傷の原因が生じたのは、貯蔵庫を建設中の一九九二年十一月ごろ。AとBの二つあるピットのうち傷の見つかったBピット壁面で、裏当て金とステンレス内壁との間を密着させるためのシリコンコーテ

インク施工中、塩分を含んだ雨水がピット内に侵入。このため、コーティング部を削り取り再施工した。その際、裏当て金の表面保護テープの一部が破れ、塩素を含んだ削り粉が内壁裏側に付着。溶接部の残留応力と塩素の影響で応力腐食割れが進行し、ステンレス板を貫通したと推定している。

今後の対策としては、調査のため切り出した箇所は新しいステンレス板や裏当て金などで復旧。その後、塩素濃度の確認や液体浸透探傷検査などで安全性を確認する。さらに、3号機のA、B両ピット内壁の溶接部に樹脂コーティングをして漏えいを防止する、など

伊方2号機23日から定検

四国電力は十九日、伊方発電所2号機(加圧水型軽水炉、五十六万六千

四電は十九日、1号機の非常用ディーゼル発電機の予熱用蒸気調整弁からの蒸気漏れなど三件のトラブルについても、県、伊方町に報告書を提出した。

予水試から宇和島市の県水試に陸送。稚員の配布には、内海漁協や三浦漁協をはじめ七漁協の職員が訪れ、県水試の研究員の説明を受けながら稚員が入った箱を受け取った。

配布した員は、養殖二年目となる来年四月から十一月までは県水試が継

米軍ヘリ不時着で共産党

飛行禁止要請

県に申し入れ

共産党県委員会(稲垣豊彦委員長)は十九日、米軍普天間基地所属のヘリコプターが十八日西宇和郡三崎町の海水浴場に不時着したことで、不時着の原因究明などを求めて加戸知事に文書で申し入れた。

申し入れ書では、佐田岬半島の米軍関係航空機事故や不時着は今回で五度目で、今回の不時着も一歩間違えば重大事故につながる恐れがあるとして、県に対し、▽伊方原発上空と訓練空域以外の飛行禁止を米軍、政府に求める▽米軍に不時着の原因究明を求め、それを県民に知らせる▽米軍機の飛行コースや日時を明らかにするよう米軍と政府に求める▽米軍若国空域の撤去と、米軍が握る松山空港の優入管制権の返還を政府に要請するの四点を求めた。

応じた中平常友消防防災安全課長は「趣旨は承った。関係所管に伝える」と答えた。

良質な真珠づくり支援

試水 県

改良稚員155万個配布

宇和海7漁協に 成育状態も追跡調査

強い体質のアコヤ貝づくりに取り組んでいる県水産試験場(宇和島市下波)は十九日、研究成果をもとに選抜した員で人工採苗した稚員約百五十五万個を宇和

海七漁協に無償配布した。県水試が本格的にアコヤ貝の稚員を量産し、配布したのは初めて。量産配布は三年間継続し、県水試は配布した員が真珠を生み出すまでを追跡調査する。

配布した員の親貝は、真珠層の主成分・炭酸カルシウムを作る「炭酸脱水素酵素」の含有量や栄養・血液の状態、赤変化度合いなどを基準に天然日本員と日本産中国員から選抜。二月下旬、育てていた。

小雨の中、緑広がる麦畑の雑草を取る農家の人
—19日、温泉郡重信町



クリーン自動車燃料電池 政府主導で仕様は